

ジョホール日本人学校関係者の皆様

ジョホール日本人学校  
校長 川口 浩

### 新型コロナウイルス感染防止対策について

かねてより、新型コロナウイルス感染防止のため、ご理解ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。ご存知のように、マレーシア全体としては新型コロナウイルスの感染が再び増加傾向にあり、濃厚接触の報告を受けるようになりました。まだまだSOPの遵守等には十分注意が必要です。今後、お子様方や、保護者の皆様をはじめとする同居人の方々に、感染、濃厚接触等の可能性があった場合の対応を再度お知らせいたします。ご理解・ご協力をお願いいたします。

#### 記

#### 1 体調不良児童生徒への対応の流れ

(新型コロナウイルス関連で児童生徒が学校を休む場合は、欠席ではなく出席停止扱いといたします。)

##### (1) 児童生徒が在校中の場合

##### ① 児童生徒が体調不良を訴えた場合

- I 多目的室で検温・健康観察
- II 発熱の有無にかかわらず保護者に連絡、許可を確認後、簡易検査を行い、来校・迎えを依頼  
陰性だった場合
  - ・発熱がある場合、保護者から医療機関に連絡し検査等の指示を受ける。
  - ・発熱がない場合、自宅で様子を確認、容態によって医療機関に連絡し検査等の指示を受ける。(いずれも、帰宅後の様子の確認、担任との連絡をお願いします。)陽性だった場合
  - ・発熱の有無にかかわらず保護者から医療機関に連絡し検査等の指示を受ける。
- III 医療機関で該当児童生徒がPCR検査等を受けた場合、検査結果が判明するまで登校を見合わせる。また、その間、同居する兄弟・姉妹等が日本人学校に在籍している場合は、登校を見合わせる。該当児童生徒が陽性の場合、兄弟・姉妹等も検査を受ける。該当生徒、兄弟・姉妹が陽性の場合、医療機関の許可が出てから後、登校を再開する。

##### ② 児童生徒の在校中に、同居者が感染者または濃厚接触者であることが分かった場合

- I わかった時点ですぐに、該当児童生徒を多目的室に移動
- II 検温・健康観察
- III 発熱の有無にかかわらず保護者に連絡、許可を確認後、簡易検査を行い、来校・迎えを依頼  
「① 児童生徒が体調不良を訴えた場合」のIIの対応と同様
- IV 医療機関で同居者がPCR検査等を受けた場合、検査結果が判明するまで、児童生徒は、登校を見合わせる。同居者が陽性の場合、児童生徒も検査を受ける。児童生徒が陽性の場合、医療機関の許可が出てから後、登校を再開する。

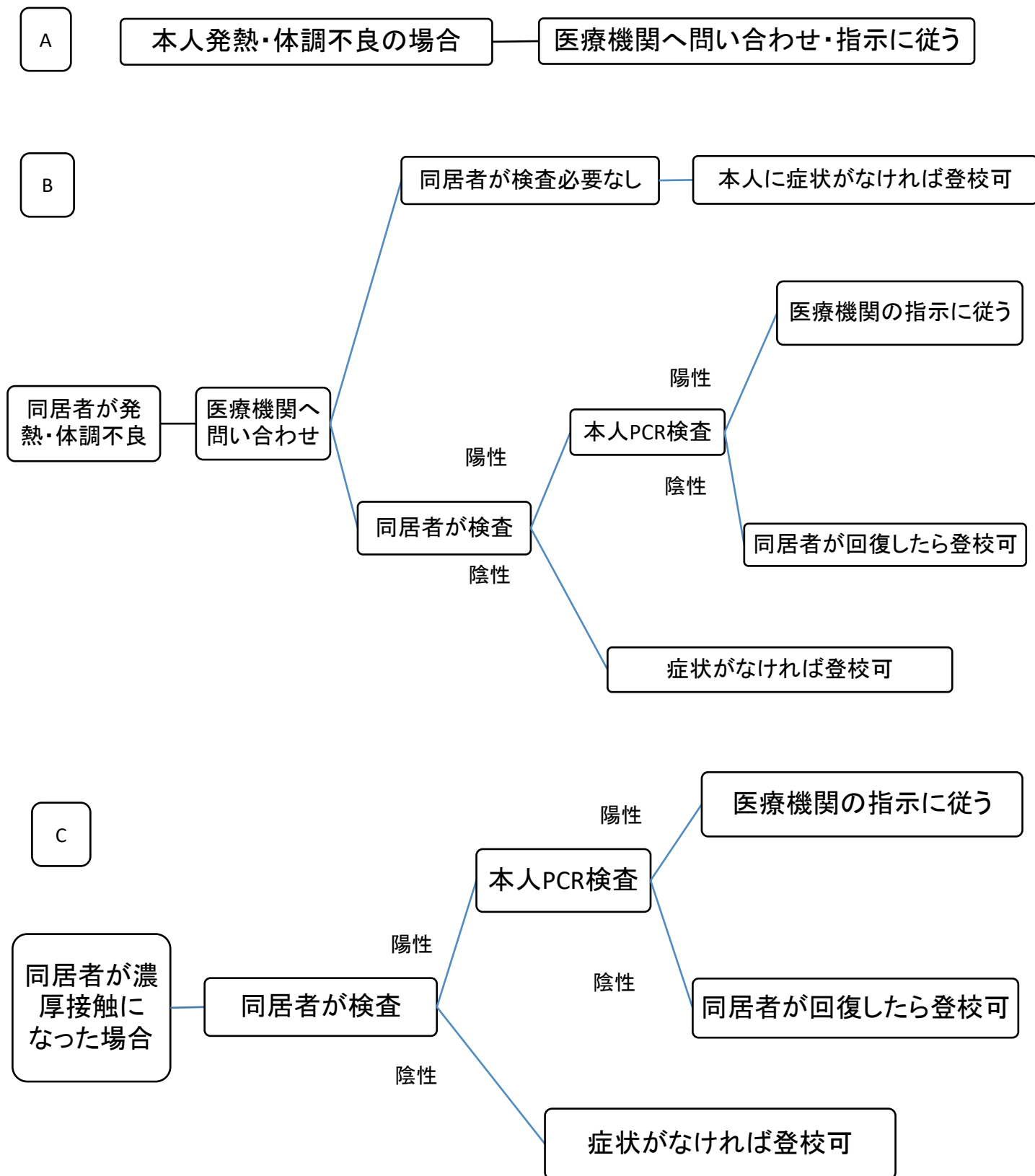
##### (2) 児童生徒の在宅時

上記、在校中の場合の対応の流れに準ずる形でお願いいたします。(お迎え以外の部分)とにかく、自宅で上記①②の場合は医療機関に連絡し指示を仰いでください。児童生徒の登校についても指示を仰いでください。

## 2 その他

- (1) 感染者が発生した場合の、臨時休校等の措置は、マレーシア教育省、保健省、学校運営委員会、現地医療機関と協議し、決定いたします。その際の、学習課題、オンライン授業の実施等もあわせてお伝えいたします。
- (2) 日本人学校内で感染がない場合でも、マレーシア国内での感染拡大により、MCO等が発令された場合は、その指示に従います。
- (3) お子様のお迎えに関しては、直接、職員室・教室に来ていただくのではなく、当面の間、ゲートで検温、事務室入口での受付とさせていただきます。来校の際はマスクの着用をお願いいたします。
- (4) 感染が発生した場合、その当事者やご家族等への人権的配慮をお願いいたします。

# コロナウィルス感染防止対策フローチャート



※ご家族が検査を行う場合は、判定が出るまでは本人は自宅で待機になります。  
学校閉鎖、学級閉鎖等の判断は、教育省、保健省との協議によって決定致します。